

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 ひまわりの丘再整備推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内 2617)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 213,646 千円 (前年度予算額：9,968 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	9,968	0	0	0	0	0	0	7,900	2,068
要求額	213,646	0	0	0	0	0	0	168,400	45,246
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ひまわりの丘は、県立施設として岐阜県障がい者総合支援プランに位置づけられる次の機能や役割を担っている。
 - ・高齢化・重度化等により支援が困難な障がい者のセーフティネット機能
 - ・強度行動障害など社会情勢に応じた研修などの人材育成機能
 - ・障がい者の就労センター機能 等
- 県立ひまわりの丘(第三・第四学園)は、施設の老朽化(築40年超)及び利用者に適した環境の改善のため施設の再整備が急務となっている。
- そのため、県の財政負担の軽減及び効率的な運営を検討する中で、平成25年度に県から、本施設の指定管理者である(社福)岐阜県福祉事業団に要請を行い、事業団が清流園方式※1により新施設の整備・運営を行うことで合意し、利用者の高齢化・重度化に対応するとともに、強度行動障がい等の専門的な支援が行える施設とするため、岐阜県障がい者総合支援プランに位置づけられ、整備を進めている。
- 令和3年度に第三学園解体工事の実施設計を行ったことから、令和4年度は第三学園解体工事を実施する。
- また、第二学園を事業団に譲渡するにあたり、該当建物等について、不

動産鑑定評価を実施する。

(2) 事業内容

- 県立ひまわりの丘の再整備に伴い、既存施設（第三学園）の解体撤去工事を行う。

① 第三学園

建築年月 昭和48年3月

構造 鉄筋コンクリート造

面積 建築面積 1,138.31 m² 延床面積 1,902.14 m²

② その他付属施設（作業棟、倉庫、プロパン庫 ほか）

- 事業団に譲渡を予定している建物の不動産鑑定を行う。

① 第二学園管理収容棟

建築年月 昭和52年3月

構造 鉄筋コンクリート造

面積 建築面積 778.19 m² 延床面積 796.24 m²

② 作業棟×2棟

建築年月 平成9年3月

構造 軽量鉄骨造

面積 建築面積 458.41 m² 延床面積 458.41 m²（合計）

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託料	4,330	解体工事監理委託（工事請負費の2.1%）
業務委託料	2,062	一般廃棄物処理費（工事請負費の1.0%）
工事請負費	206,176	解体工事
事務費	618	工事事務費（工事請負費の0.3%）
役務費	460	第二学園移譲に係る建物3棟の不動産鑑定評価費用
合計	213,646	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県障がい者総合支援プラン

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

○ 令和4年度のひまわりの丘（第三・第四学園）の新施設の供用開始。

※入所定員移譲計画（第三・第四）：H29-50人、R02-50人、R04-100人

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
						%
① 移譲した入所定員数	0人	100人	0人	100人	200人	50.0%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 第四学園棟等を解体撤去した。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
<p>(評価) 2</p>	<p>ひまわりの丘第三学園及び第四学園は、施設の老朽化、利用者の重度化や高齢化という課題を抱えており、両施設の再整備により、これらの課題に対応する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
<p>(評価) 2</p>	<p>整備中</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
<p>(評価) 1</p>	<p>整備中</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>○ 工事実施にあたっては、既存施設利用者や周辺住民の住環境への影響に配慮した安全な工事とすることが必要。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>○ 既存施設利用者や周辺住民の住環境への影響等に十分配慮し、解体工事を円滑かつ安全に実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【○○課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	